

中央区

ごみゼロ



リーダー

ニュース

第11号

平成30年3月発行

食品ロスを考えよう！

右の写真は何だと思いませんか？

実はこれは大阪市のある地域で一定期間（約160世帯、4日分）調査を行った際に排出された「手をつけていない食料品」の一部です。

これらの「手をつけていない食料品」の賞味期限・消費期限を調べてみると、なんと約3割が賞味期限・消費期限が切れる前のものでした。

そこで大阪市では、生ごみの減量施策として「生ごみ3きり運動」を推進しています。生ごみの「3きり」の取組みである「使いきり」、「食べきり」、「水きり」にご協力をお願いします。

また、歓送迎会などの宴会時には『30・10（さんまるいちまる）運動』で残さず食べましょう！

これは、会食や宴会の時の、『最初の30分間と最後の10分間はお料理を楽しむことで食べ残しを減らしましょう』という運動です。

食料の多くを輸入に頼りながら、大量の食べ物が捨てられていることは、「もったいない」だけでなく、ごみとなることから地球環境にも大きな影響を及ぼします。

「30・10（さんまるいちまる）運動」は、そんな食べられるのに廃棄されてしまう「食品ロス」削減の取組みとして、多くの自治体で実施されています。



MEMO

日本の食品ロスは年間約 621 万トンあると言われています。（農林水産省および環境省平成 26 年度推計）

これは、世界全体の食品援助量（約 320 万トン）の約 2 倍にあたり、日本の食用の魚介類の量（約 622 万トン）に匹敵します。

「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」に参加しています

大阪市は、「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」に参加しています。

本プロジェクトは、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会において、小型家電リサイクル由来の貴金属を用いて、東京 2020 大会時の入賞メダルを作成するものです。このプロジェクトにより、我が国のリサイクルの取組を国際的にアピールするとともに、日本全国の全ての国民の参加を得て使用済小型家電由来の貴金属から入賞メダルを作成することを通し、オリンピック・パラリンピック後にも続く、循環型社会の構築に資する“レガシー”となることが期待されます。

携帯電話やデジタルカメラなどの使用済小型家電にはレアメタルなどの貴重な資源が含まれていますが、ごみとして捨てられたり、ご家庭に眠ったままになっているのが現状です。

そこで、使用済小型家電を回収し、これらの貴金属を用いて東京 2020 大会時の入賞メダルを作成することなどにより、ごみの減量と資源の再生利用が進むこととなります。

本市では、回収した使用済小型家電は、本プロジェクトに使用するものとして取り扱いますので、ご理解とご協力をお願いします。

《編集・発行》

大阪市環境局中部環境事業センター出張所

大阪市浪速区塩草 2-1-1

TEL:06-6567-0750 FAX:06-6567-0721

<http://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/index.html>

